

平成 24 年度 ICT ラボ主催 春期研修セミナー
[安全医療コース] ～医療事故の分析・予防と紛争化対策 入門コース～
実施報告

コース担当責任者： 上塚芳郎 （ 医療・病院管理学教授 ）

【募集要項】

[コース全体の主旨・ねらい]

医療安全の基礎理論を学習し、さらに、事故分析・事故予防のスキルを身につけます。また、医療提供の際の患者への説明の在り方と医療紛争との関係について理解を深めます。

[方 法]

各回とも前半は講義、後半は全員参加型の演習となります。

[対象者と募集人数]

職種を問わず全ての教職員と大学院生を対象といたします。基礎から進めて実践的な内容にも触れますので、本領域について何も知らないという方から臨床現場で活用したいという方まで、広く参加を歓迎します。4回連続での参加を基本に考えて下さい。募集人数に制限は設けません。

*講義場所は統合教育学習室 (ICT ラボ) 旧心研研究部 2 階を予定していますが、受講生が多い場合は、看護学部第 1 校舎もしくはスキルスラボ II を使用します。

時間割表

1 回 (4 月 21 日)	
13 : 30 - 16 : 00	担当講師： 奥津 康祐 （ 医療・病院管理学 ） 医療事故やヒューマンエラー、事故分析法について基礎を学びます。さらに、具体的な事故事例を皆で分析します。
2 回 (5 月 12 日)	
13 : 30 - 16 : 00	担当講師： 中島 範宏 （ 医療・病院管理学 ） インフォームド・コンセントに代表される患者に対する説明義務について解説し、法的基礎や判例を紹介します。
3 回 (5 月 19 日)	
13 : 30 - 16 : 00	担当講師： 奥津 康祐 （ 医療・病院管理学 ） 医療事故の予防について理論・実践の両面から学びます。KYT(危険予知トレーニング)を行い、危険予知の感性を高めます。
4 回 (5 月 26 日)	
13 : 30 - 16 : 00	担当講師： 中島 範宏 （ 医療・病院管理学 ） 医療を進める上での患者との関係の在り方について、倫理的な観点から講義します。事例を通じ、患者や家族にどのように対応すれば最善の医療を提供し、紛争化を防げるのか皆で考えます。

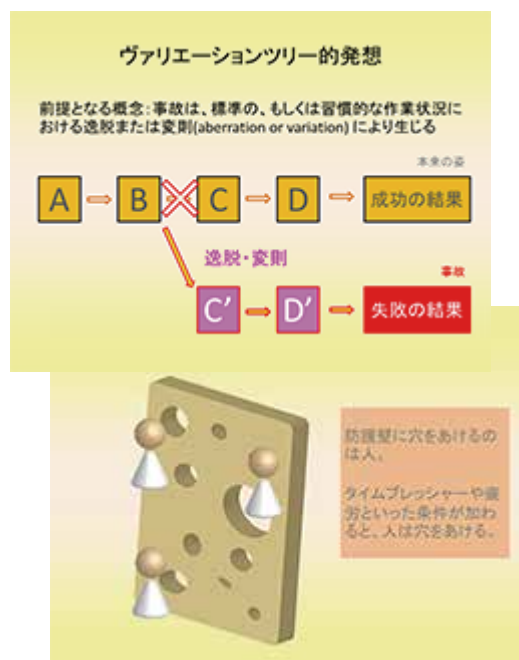
*講師に焦点を当てた講義風景を写真撮影します。予めご了承下さい。

*登録 19 名、修了 12 名(3 回以上出席)

【実施状況：第1回(4/21)】 担当講師：奥津康祐 *出席17名

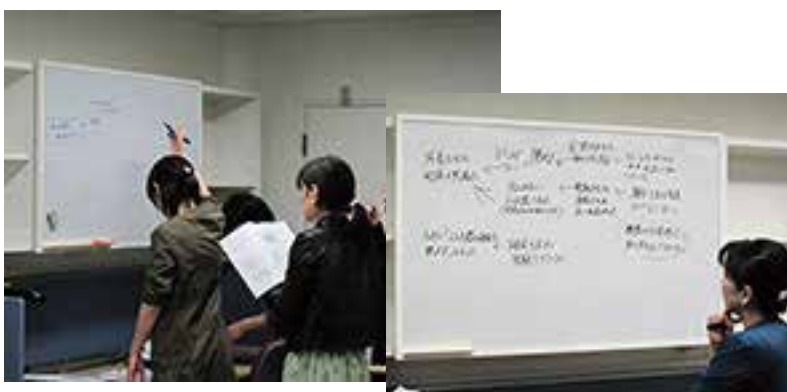
前半：講義

前半は講義形式で、ヒューマンエラーや事故分析の基本を学びました。



後半：実践

後半は、具体的な医療事故事例をもとに、全員で役割分担をして、時系列事象関連図の作成やなぜなぜ分析を行いました。



なぜなぜ分析(4グループに分かれて検討)



時系列事象関連図の作成

+ 自習

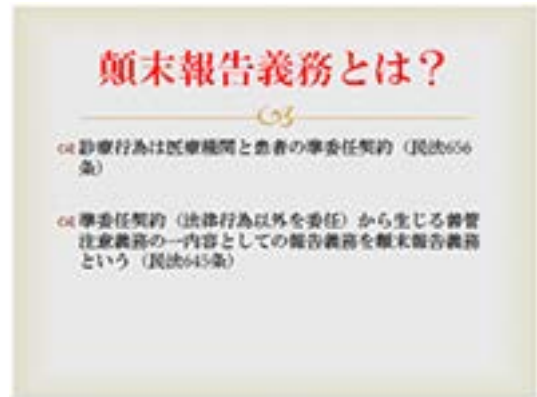
作成した時系列事象関連図、およびなぜなぜ分析をエクセルファイルにしたものを配布しました。時系列事象関連図やなぜなぜ分析の表を各自で補足、修正し、よりよいものを作ります。

【実施状況：第2回(5/12)】

担当講師：中島範宏 *出席 15名

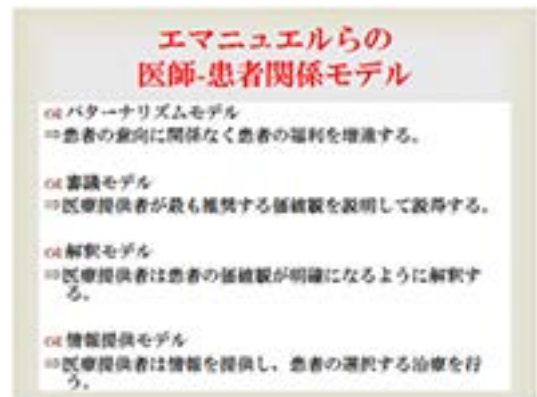
・説明義務について皆で楽しく学習！

・法律知識を基礎から解説



・インフォームド・コンセントで説明すべき内容や医師 - 患者関係に役立つ

知識を解説



実習：東大 AVM 事件や癌の告知を題材にしたコンサルテーションを模擬体験



【実施状況：第3回（5/19）】 担当講師：奥津康祐 *出席 15名

前半：講義


前半は講義形式で、KYTの理論や方法について学びました。



国産！普及！

このようにKYT4ラウンド法は、日本の労働環境・文化に合わせ、日本人が開発したものであり、日本の様々な労働場面に根付いている。(指差呼称も日本製)


医療現場はむしろ日本人が多い職場。
また、看護系学校の約半数で教育が実施されている。
(西池洋子、看護基礎教育における危険予知トレーニングへの取り組みの特長、看護展望、34(2)号、p.5、2011)
→医療界でも効果が出やすい



Made in Japan!!

第3ラウンド：対策樹立

- ①リーダーは、抽出された項目について、予防、防止のために「あなたならどうする」と尋ねて考えさせる。
- ②メンバーは具体的で実行可能な対策を出す。その際、「チームとしてこうすべき」という実践的な行動内容の対策を考える。
- ③書記がホワイトボード等に手早く記録する。
- ④対策のアイデアが出つくしたところで第3ラウンドを終了する。



後半：実践

後半は、写真やイラストをもとに、全員でKYTを実践しました。



男性患者
胃がん手術で入院
術後経過良好で明日退院予定
意識状態：清明
お昼寝中

トイレに行く際は、ナースコールをするよう、伝えてある

Lesson2: イラストで実施 (イラスト：島村陶冶)



Lesson3 実施風景

ホワイトボードのイラストをもとに、「リーダー」が進めていきます。

危険がいろいろ見つかりました

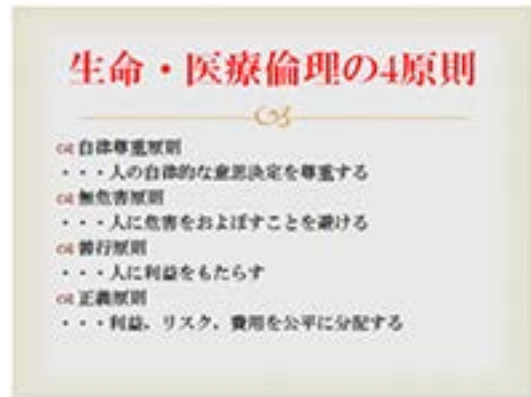
【実施状況：第4回(5/26)】

担当講師：中島範宏 *出席 14名

・医療倫理について楽しく学習！



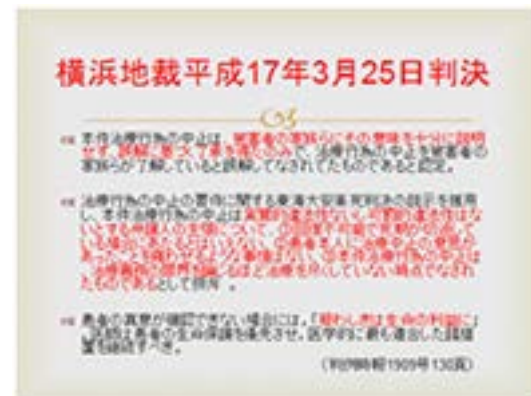
・倫理原則について基本を解説



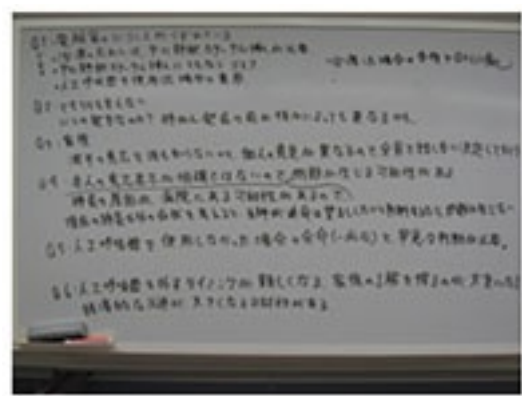
・問題点整理のための四分割表を解説



・治療中止に関する判例も解説



実習：末期の肺癌患者が誤嚥性肺炎となったケースを題材に、患者家族との関係構築や治療の進め方に関するコンサルテーションを模擬体験



受講生アンケート

設問 1 今回受講を申し込んだコース

先進医療コース、全人医療コース、**安全医療コース**

設問 2 あなたの職種についてお答えください

- | | |
|----------------|---|
| 1. 教員 (医師を含む) | 2 |
| 2. 看護師 | 7 |
| 3. 看護師以外の医療従事者 | 3 |
| 4. 事務 | 1 |
| 5. 研究技官・研究補助員、 | |
| 6. 研究生・大学院生 | |
| 7. その他 | |

設問 3 講義時間 (1 回あたりの講義時間)

- | | |
|-----------|----|
| 1. 長かった | 1 |
| 2. 丁度良かった | 12 |
| 3. 短かった | |

設問 4 講義回数

- | | |
|-----------|----|
| 1. 多かった | |
| 2. 丁度良かった | 12 |
| 3. 少なかった | 1 |

設問 5 講義内容についての満足度についてお答えください

- | | |
|-------------|---|
| 1. とても良かった | 9 |
| 2. 良かった | 4 |
| 3. 余り良くなかった | |
| 4. 良くなかった | |

設問 6 今回の研修セミナーを受講して自分自身に得られるものがありましたか

- | | |
|-----------|----|
| 1. 大いにあった | 10 |
| 2. 少しあった | 3 |
| 3. 余りなかった | |
| 4. 全くなかった | |

設問 7 研修セミナーを受講したことで、今後の自分の業務あるいは職場に還元できそうな知識や切っ掛け (出会いを含む) などがありましたか

- | | |
|-----------|---|
| 1. 大いにあった | 7 |
| 2. 少しあった | 6 |
| 3. 余りなかった | |
| 4. 全くなかった | |

設問 8 今回参加した感想などを自由にお書きください

- ・勘違いしていたとか、ハッとすることがありました。
- ・普段は、臨床の第一線には居ないので、他人ごとになっていることがあったと思います。良い刺激になりました。
- ・新しい知識を学んだり、また、知識を整理することがあり学習になった。病棟でも取り入れやすい内容だった。ただ、1 回の演習だけでは身に付いたかどうかといえば自信がない。
- ・グループワークの形が取れたので、とても良かったです。
- ・様々な意見をお持ちの方々がいたので勉強になった。
- ・物事を判断する上でのものさし (分析方法) を知るきっかけを沢山いただきました。
- ・グループワークも長すぎず、短すぎずほど良く得た知識を用いながら考えることができ、毎週興味深く参加することができました。次週に前回のグループ発表のフィードバックがあるのが良かった。
- ・事故に関して知識が深められた。特に私の居る病棟は、検査治療が多く、患者様から説明を求められるので、今後の参考にしていきたい。

- ・勉強会を開くための参考になった。
- ・高度で最新の情報を無料で参加できた。
- ・医療を安全にできることを再認識でき、実践的なグループワークができた。職場に還元して行きます。ありがとうございます。
- ・振り返りになった。楽しく学ぶことができました。GWは効果的だったと思います。
- ・難しかったが、とても良かったです。また、参加したいと思います。
- ・分野が異なる、価値観も異なる人達との分析や話し合いが自分の幅を広げて貰ったと思います。
- ・医療倫理問題について、4原則で論理的に考えられるように次回により深く取り組めたらと思う。
- ・今回は様々なテーマがあったので、知識が広がった。
- ・医師法と提訴と告訴、事例を照らし合わせた解釈などにも言及して欲しい。
- ・リスクマネージャー分析など実践に基づいた講義をして欲しい。

設問9 今後のテーマ・開講時間や曜日などの希望がありましたら自由にお書き下さい

- ・医療事故の事例検討は定期的にして欲しい。
- ・法的な考えなく物事を見ていることは多々あると思われる。
- ・研修は半日ではなく、1日研修にして欲しい。演習を複数回行って欲しい。
- ・講義回数を勤務希望上厳しいところがあるので、月2回に分けて頂けると幸いです。
- ・今回入門コースなので、次回是非、応用コースをやって頂きたいです。4日間大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ・基礎、応用などステップアップ研修があると良いと思いました。
- ・講義で学んだことを部署（職場）でどのように活用したかなど、参加者の意見交換ができるような場や時間が取れると良いと思いました。
- ・土曜日の午前中がいい。
- ・土曜日の13:30～には参加しやすい。平日は残務仕事があり、参加したくても出席できず、残念でした。
- ・倫理・法的内容のステップアップコースなどの企画を希望します。
- ・全6回程度が良いのではないかな。
- ・リスクマネジメントの分析の仕方等、職場で直ぐに役立つ内容があってもいいと思う。
- ・分析後の話し合いの進め方も知りたいです。
- ・学問としてのコースも学びたいです。
- ・休日1日コースがあるといいです。